

令和5年度 第3回瀬戸市環境衛生審議会議事録		
日時	令和5年11月14日(火) 午前10時から正午まで	
場所	瀬戸市役所1階 103・104・105 会議室	
出席者	委員	出席者：小林委員、藤井委員、伊藤委員、服部委員、 加藤委員、大倉委員(web)、萱岡委員、古謝委員
	事務局	篠田市民生活部長 (環境課) 加藤課長、小川課長補佐、 久野ごみ減量係長、平川ごみ減量係主査
	計画策定 受託者	(中日本建設コンサルタント(株)) 山田、佐伯、尾崎
傍聴者		4名
1 開会 ・小川補佐から会議成立の報告 ・篠田部長から挨拶 ・小林会長から挨拶		
2 議事 (1) 報告事項 ① ごみ排出量等の報告について		
ごみ減量アクションプランの進捗状況及び令和5年度のごみ及び資源物の排出実績について、事務局から報告		
会長	ただ今の報告について質問等はあるか。確認だが、ごみ袋の値段は変わっていないということでしょうか。	
事務局	はい。有料化制度の導入を進めていた当初は、10枚入りで45リットルが500円、30リットルが300円、20リットルが200円であったが、これを市場価格、通常店舗で販売されている最多価格帯に合わせて45リットルが180円、30リットルが160円、20リットルが140円とし、従前の店頭での最多価格帯に合わせた値段設定とした。	
会長	有料化をやめたのではなく、市場価格にするということでしょうか。	
事務局	そのとおりである。市が袋を調達して、一般廃棄物処理手数料を支払って購入した袋を使ってごみを出し、その手数料でごみを処理するという有料化制度を9月1日からスタートした。ただし、価格については従前と据え置いたということで、ご理解いただきたい。	
会長	承知した。今後、手数料金額の変動はあるのか。手数料金額を都度見直すことが前提であるという理解でよいのか。	
事務局	見直しの時期と金額を上げる、下げるということは未定であるが、議会においてもごみが減らない、目標に近づかない状況があれば、金額の議論を審議会にも諮った上で行うという話は出ていた。	
会長	承知した。他にご意見はあるか。アクションプランも着実に実行されており、嬉しく思う。	

	その他コメントがないようであるので、協議事項に移る。
(2) 協議事項 令和6年度～令和15年度 瀬戸市一般廃棄物処理基本計画（案）について	
第2回審議会での議論の結果を受けて、計画（案）の目標値設定の考え方について、家庭ごみは、令和元年度に実施したアンケートによる協力率を用いて発生抑制の目標値を設定し、資源分別は、現在分別が進んでいる品目のレベルにまですべての品目で分別を促進する、事業系ごみは家庭系ごみと同じレベルで減量を行うことが決定したことを、事務局から報告した。また、決定した考え方で算出した目標値を中日本建設コンサルタントが報告した。	
会長	目標値の説明に関して、質問等はあるか。 総ごみを減らすこと、資源化率を上げること、両方の目標値があるということである。ただし、資源化率については、民間のリサイクルステーションが市の管轄外であり、追っていくのは難しいということもあるが、資源化を促進するのは当然の流れだと思うので、資源化しながら焼却処理量を減らすことを目指す、そのような案になっている。目標値は、総ごみ排出量を令和4年度に対して令和15年度に約86%へ、約14%減らす、資源物を除いた焼却処分する総ごみ量は、一人1日当たり約78%、2割強減らすものであり、計画全体でおよそ2割減らしていく案である。まずは、この目標値の立て方について、前回皆様に承認いただき、数字を若干変更したということであるが、最終決定としてよろしいか。私の立場では、事業系ごみの協力割合が少し低いので、目標の数字を達成すれば良いということではなく、しっかり進めて頂きたい気持ちはある。目標値以上に進めば、瀬戸市としても非常に良いことであるため、是非お願いしたい。では、特に意見がないので、目標数値を報告内容に決定し、計画案の議論に移る。
先般、委員に対しメールで送付した計画（案）に対する意見と修正の方向性について、事務局及び中日本建設コンサルタントから説明した。	
会長	修正内容の確認について、ご意見はあるか。
委員	自分が読んで分かりにくいと感じた。皆さんが読んで分かるような文章にして欲しい。
会長	今回修正した内容は持ち帰り、後日ご意見をいただきたい。 意識改革を行わないとどうなるか、についてご意見を願います。
委員	先ほどの説明で、マイナスのことを書くのではなく、前向きな表現にするというところが良かった。
中日本建設コンサルタント	将来的に目指す姿を書くのがごみ処理基本計画である。行わないとどうなるというマイナス面がある表現よりも、意識改革が進むところにつながるという文章を追加したい。
会長	建設的な書き方を全体のトーンとしていただきたい。
委員	文章について、助詞の使い方がおかしいところがあるため、よく確認していただきたい。

会長	次は、理念についてご意見を願います。基本理念に、ごみという要素が入っておらず、修正するということである。案である「目指せごみゼロ」は、私は耳触りが良いが何の意味もない言葉だと思うので、再考したい。皆さんはいかがか。ごみという言葉を入れることは良いと思うが、理念がごみゼロという点につき、ご意見はあるか。
委員	ごみゼロは理想ではあると思う。今1歳の息子がおり、どうしてもおむつは出てしまう。瀬戸市として、おむつについても、今後リサイクルができることを踏まえての理念とするのが気になる。
会長	おむつについては、現在、環境省が日本各地でリサイクルの実証事業、モデル事業を実施している。また、リサイクルの技術開発も進められている。私も少し関係しており、将来必ずリサイクルする方向になると思う。今は、それが導入されるか、制度になるかについての見通しはないと思うが、リサイクルが可能になれば、その時にリサイクルし、これだけ下げるといような目標の再設定ができるような計画にするのが良いと思う。国の制度、技術に併せて柔軟に目標値を修正していくことが望まれるというような項目を追加すると良い。今記載できるのは、そのような内容になると思う。
委員	承知した。
会長	基本理念が一番大事な部分のひとつであり、今結論は出ない。後日、皆様からご意見を頂き、しっかり決めたいと思う。 次に、生活排水に係る理念について、「豊かな自然と安全で快適な暮らしを目指す」に修正するということである。「生活排水処理対策の重要性の啓発」は、理念かと言われれば確かにそう感じる。このような理念に相応しい言葉に変えるという案だが、これも水という言葉が入っていない。豊かな自然と安全で快適な暮らしを支える水処理を目指すというように、水があった方が良く感じる。そういう方向で微修正をかけるということではよろしいか。副会長、いかがか。
副会長	はい、案のままでは、環境基本計画の理念に準じてそのまま持ってきたような印象を受け、生活排水の話が大きすぎるイメージがあるので、より適切な言葉に検討した方が良く思う。
会長	この理念は生活排水処理のみが対象か。
副会長	生活排水処理基本計画に対しての基本理念であるため、生活排水処理に対する理念が示されるべきではないか。その理念を踏まえた基本方針につながるような示し方が良く思うが、今具体的に出てこない。
会長	もう少し精査していただきたい。基本方針3 し尿処理施設における適正処理の継続・推進は必要か。当然のことである。
副会長	確かに、やらないという選択肢はない。
会長	そうであれば、最初に持ってきた方が良く。基本方針1とし、それから改善を図る項目がある方が良く。
中日本建設コンサルタント	承知した。
会長	次は目標値の示し方についてご意見を願います。修正案は資料のとおりであり、4つの案が提示された。私の希望としては、10年後に見た時に

	理解できる、なぜこの数値が設定されたのかが後で見ても分かるようにしたい。特にこの部分は重要であり、多少頁数を増やしてでも記載して欲しい。5年10年が経っても、いつ見てもこの記載に戻りパッと見て分かること、確認できるとことが重要である。例えば家庭系と事業系、それから資源、何が入って何が入らないかがパッと見て分からない。最後の案はしっかり記載があるが、そのような視点でも考えていただきたい。委員は頭に入っていると思うが、今後は人も変わる。また、見易さも重要である。瞬時に判断は難しいため、後日、委員の意見を伺うこととする。
事務局	承知した。
会長	皆様にご意見をいただいて、事務局の意見も含めて修正していくことでよいか。
事務局	承知した。
会長	コンパクトにまとめることが大事ではないと思う。 それでは次に食品ロス削減計画について、全体的に文章が分かりにくいので修正して欲しいとの意見であり、修正案は補足資料として配布されているので後ほど確認していただきたい。気になった点は、食べ残し及び手つかず食品は13%とあるが、何に対しての割合かが分からない。燃えるごみ全体の33%が食品廃棄物であり、そのあとに13%になっているので、33のうちの13ということなのか。
中日本建設コンサルタント	燃えるごみに対しての13%である。
会長	それが分からないため、誤解がないように記載して欲しい。その他の修正事項があれば、後ほどご指摘いただきたい。 次に進行管理について、Step の下の矢印の意味が分からないという意見があり、修正案が補足資料として配布されているが、いかがか。
委員	PDCA サイクルを私は認識しているので、補足資料の Plan、Do、Check、Action でぐるっと回るの分かるが、このフレームワークを知らない人が見た時は、この並びでも分かりにくいのではないかと。Plan、Do、Check、Action があり、ぐるっと回って Plan に戻るのが良いと思う。
会長	そもそも PDCA が分かるかということである。修正案の方がより良いが、PDCA については懸念があるということか。
委員	分からない人が見ても分かるようにした方が良いと思う。この表に矢印を追加し、まず計画、次に実行、チェックの流れが分かるようにして欲しい。
会長	Action のところで計画の修正・改善、また戻して Plan で計画の策定は違和感がある。計画を修正して、また策定する。時々このような表現があるが、大変違和感がある。修正してからまた策定するとは、分かりにくい。評価を受けて修正案を立て、次に計画を策定するというので、計画の修正は無い方が良い。目標の見直しは良いと思う。改善案を立てるのは良いが、計画の修正をここに書くのは違和感がある。また、左から右に流れて順番に進行することがこの表では表現されていない。Action から Plan に戻る大きな矢印はあるが、多分これでは分からないと思う。PDCA については、計画の策定、施策の実施、データ分析、計画の改善とし、日本語を上にして英語を下に記載すると分かりやすいと思う。 他にご意見はあるか。また確認後にご意見を頂くこととする。 それでは次に移る。ごみ減量のメリットについてはいかがか。

委員	先ほどの議論にもあったが、なぜこの目標にするのか、総ごみは何が含まれているかが分かりにくいという意見があったが、それに加えて、その目標を設定した理由も記載した方が、我々としても納得し、この目標を設定する裏打ちができると思う。私も会長と同じ意見で、シンプルにまとめるよりは、後で見返したときになぜこの目標にしたかが分かるようにした方が良いと思う。本日配布された案では、目標設定の根拠が書かれていないと思うので、ご一考いただきたい。また、ごみ減量のメリットについては、将来的なごみ処理費用の削減といった我々市民にとって一番身近なメリットが書かれており、市民が頑張る必要があると思える内容になっている。
会長	そのとおりである。この数字を出した経緯、根拠について、このように議論を重ねて、こういう考えで出したという記載の追記をお願いしたい。
中日本建設コンサルタント	承知した。記載方法を検討する。 修正にあたり確認だが、数値の根拠というのは、総ごみ排出量でいうと、どういう経緯で 38,930 t が 33,625 t になるかを書くということで良いか。また、目標値の設定理由については、こういった考え方でこの目標を設定したというところを修正案で示しているが、考え方は合っているか。補足資料では、目標指標の設定として、指標と設定理由を記載している。ご意見いただいたこの目標がなぜ今回の目標になったかは、ここで説明している。また検討するが、こういうことが必要になった経緯を加えることで、後で見た時により分かりやすいという理解で良いか。
会長	私はそれで良いと思うが、委員はいかがか。目標指標として、なぜこれを選択したのかという理由を示す。それから数字がこの数字になった根拠を追記することで良いか。
委員	先程、持ち帰って考えるように言われたが、今の議論を聞いていると、どうしてこうなったか分かりやすく数字を出して、その後、どういった経緯でこのようになったかにつけると読みやすいと思った。
会長	補足の資料とするのが一番良いと思う。本編ではないところの内容となるため、事務局に任せたい。今の意見はぜひ反映させて欲しい。 他にいかがか。
委員	違う質問であるが、PDCA サイクルの修正に関して、Action のところに修正という言葉は必要か。無い方が分かりやすいと思う。また、横文字は、若い世代の方たちは理解しやすいと思うが、全ての人が読んで分かるために、日本語表記を先にする方が良いと思う。
会長	是非そのように配慮いただきたい。 これで重要なところは大体議論いただいた。ここで確認やご意見があれば発言をお願いする。副会長いかがか。
中日本建設コンサルタント	1点、よろしいか。先ほど議論したメリットの部分で、ごみ処理施設が新しくなった場合の省エネ効果も触れたいという意見をもらっていた。省エネ効果について、地球温暖化対策の一部として省エネを組み込んだ形でメリットを記載した。ごみを減量すると、新たに整備する施設の規模が小さくなるというコストと同じような話ではあるが、省エネルギーにもつながるというようにまとめて対応した。どこに記載するかを考えた時に、メ

	リットとして伝えた方が分かりやすいと考えたが、ご意見の意図に沿っているか確認したい。
委員	それで良いと思う。
会長	今、具体的な言及はできないこともあると思うが、文章で触れるということで良いか。 ごみの減量率が約 14%であるが、二酸化炭素が 50%減の見込みとあるが、この数字の大きな違いはどこに由来しているか。
中日本建設コンサルタント	焼却に伴い発生する二酸化炭素量は、プラスチック由来が多くを占めている。計画では、プラスチック製容器包装の分別等を積極的に行うことを記載しており、達成できれば大幅にプラスチック類が減るので、CO ₂ が大きく下がる試算結果になる。環境省が出している地球温暖化対策の中での CO ₂ の算出方法を採用している。今のご指摘を受けて、この 50%が環境省の算定方法で出していることを注記する必要があると感じた。
会長	根拠だけでなく、プラスチックの焼却量が大幅に減るから、二酸化炭素排出量の大幅な削減につながるという今の説明もあとが良い。
中日本建設コンサルタント	承知した。
会長	下の方に少し記載があるが、文章が切れていて分かりにくい。 他にご意見はいかがか。 目標値の資料の中で、緑色で囲まれた本計画の目標値の下にある黄色で囲まれた数字が本計画の参考指標とある。実は、参考指標は、私が現計画を策定する時に使って欲しいと依頼したものであるが、参考という言葉が必要か。本計画の指標であり、参考という意味も含まるので、目標値ではないが、これを見て管理することとなる。よく見ると、参考指標という言葉が分かりにくいと感じたため、本計画の指標という表現に改めてはどうか。一度そういった方向で検討をお願いする。
中日本建設コンサルタント	承知した。
副会長	その部分について、説明文章が目標値に対しても指標に対しても「数値目標」になっている。同じであると混同して分かりにくいのではないかと。目標値は数値目標で良いと思うが、指標は変えた方が良いと思う。
会長	数値をとった方が良い。
副会長	同感である。
会長	数値指標を指標に改めるようお願いする。 また、この計画は冊子となるが、何年から何年までの計画かが分かりにくいので、最初の表紙に書いた方が良い。現計画も表紙に記載がある。表紙も本文も分かりにくいので、分かりやすくして欲しい。 また細かいところになるが、第 1 章の基本的事項の中の地域循環共生圏という言葉について、理解が違うのではないかと。ここに記載された内容は、

	<p>本質と外れているので修正してほしい。地域の中で人・物・金を回すというのが地域循環共生圏の思想であり、これは国が提唱しているものである。計画に記載された内容は、資源循環だけの話であり、意味が違っていると感じる。</p> <p>また、冒頭でも申し上げたが、計画中に国や国の施策に応じて柔軟に見直しをするという節を作ってもらいたい。今後、国の方針等が急に変わることも予想されるため、計画の見直しという部分を項目にした方が良いと思う。そうすることで、施策を変える根拠となる。計画に書いてあるから直すという動きが柔軟にとれるため、是非検討願いたい。私からは以上であるが、委員いかがか。</p>
委員	<p>第4章食品ロスの部分に付け加えて欲しいことがある。いろいろな数値を表で記載しているが、食料品の余分なもの、必要なもの以外は買わないということを追加してもらいたい。買わないことが一番基本であると思うため、必要以上に買わないという文面をどこかに加えて欲しい。</p>
会長	<p>まずは発生させないというところは、非常に重要である。検討し、記述して頂きたい。まず重要なことは、というように書くと良い。</p> <p>他はよろしいか。</p>
副会長	<p>食品ロスのところで、CO2の2を下付きにしてほしい。また、CO2と二酸化炭素、両方記載があるが、この違いは意識されているのか。統一できないか。</p>
中日本建設コンサルタント	<p>統一する。</p>
副委員	<p>また、誤植がところどころにあるため、全体を通して見直しをお願いしたい。</p>
会長	<p>追加のご意見等はよろしいか。</p> <p>この会議では審議を終了するが、是非忌憚ない意見を頂きたいと思う。それでは3 その他に移る。</p>
3 その他	
会長	<p>この度、一身上の都合で環境衛生審議会の委員を退任されたいという旨の申し出があった。大変残念であるが、やむを得ないため、一言挨拶をお願いしたい。</p>
委員より退任の挨拶をいただいた。	
会長	<p>他にご発言あればお願いしたいが、よろしいか。</p> <p>最後、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールについて、本日議論された内容に基づき、パブリックコメントを実施する計画案を作成する。事務局でできるだけ早く計画案を作成し、委員へメール等の形で報告したい。そのため、今日示した資料に対し、ご意見があれば事務局へ報告いただき、最終案に反映させたいと考</p>

	<p>えている。パブリックコメントは12月上旬から1月までの1か月間を予定しており、市民の意見を踏まえて、2月上旬ぐらいに計画の内容を確定する予定である。次回審議会では、確定した計画案の報告と、令和6年度の一般処理廃棄物処理実施計画を諮問させていただき、ご審議願いたい。配布した日程調整表は、できるだけ早く事務局まで回答をお願いしたい。実は、この審議会は、会長からの許可に基づき傍聴者からご発言を頂くことができることになっている。本日、傍聴者から発言があるということであるが、会長から許可は頂けるか。</p>
会長	許可する。
傍聴者	<p>感想を一言述べる。令和15年、10年後の計画を立案するという事で、SDGs等の色々なことを考え、数値目標がありすごいと思って聞いていた。一般市民として、ごみ減量に一所懸命取り組んでいるが、具体的にどのように減量に取り組むかを審議会でご協議頂けるとありがたい。本当にプラスチックはあふれていて、家に置いておけないので燃やしてしまうという人が結構いる。我が家は庭があり置いておけるが、月2回ではプラスチックを十分出し切れない家庭もあると思う。是非とも4回にするなどして欲しい。また、資源物の集積場所が遠く、おばあちゃんたちがシルバーカーに乗せて何百メートル先までも運んでいる。また、車で持ってくるのが現状の地区がある。地区によって様々だが、今後整備して頂き、令和15年に資源化率が11.6%増えるように、数値目標として27.8%を目指すことを計画されているのであれば、計画が実行に移されるように、システムづくりを検討して頂くとありがたいと思う。</p>
会長	<p>今の内容は、審議会でも課題になっており、問題意識はある。今の体制や仕組みが決して十分なものではないということも、審議会でも市の環境課でも理解しているので、これから少しずつ改善を図るということは間違いないと思う。</p>
4 閉会	
会長	これをもって本日の会議を終了する。ありがとうございました。

上記のとおり議事録を作成し、会長は記名・押印する。

令和 年 月 日

会長

印